

平成23年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月11日

上場取引所 大

上場会社名 三光合成株式会社

コード番号 7888 URL <http://www.sankogosei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田健宗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 廣川修悦

四半期報告書提出予定日 平成23年1月13日

配当支払開始予定日

TEL 0763-52-7105

平成23年2月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年5月期第2四半期の連結業績(平成22年6月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年5月期第2四半期	18,081	9.2	1,179	18.2	1,010	37.9	1,514	72.7
22年5月期第2四半期	16,551	△32.9	997	—	732	—	876	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年5月期第2四半期	72.32	—
22年5月期第2四半期	41.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年5月期第2四半期	25,140	7,174	26.2	315.14
22年5月期	24,427	5,658	21.0	245.60

(参考) 自己資本 23年5月期第2四半期 6,597百万円 22年5月期 5,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年5月期	—	0.00	—	4.00	4.00
23年5月期	—	2.00	—	—	—
23年5月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年5月期の連結業績予想(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	3.3	1,800	12.1	1,400	12.4	1,600	71.8	76.43

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 有

新規 一社（社名 _____）、除外 2社（社名「RICH MOUNT INC.」「SANKO NEDE RLAND B.V.」）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年5月期2Q	21,121,569株	22年5月期	21,121,569株
② 期末自己株式数	23年5月期2Q	187,666株	22年5月期	185,965株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年5月期2Q	20,935,080株	22年5月期2Q	20,936,431株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア地域を中心とする新興国による海外経済の改善や政府の各種支援政策等による効果を背景に、景況感に持ち直しの動きが見られたものの、デフレや雇用不安から個人消費が依然低迷を続け、さらに円高の急激な進行による影響が懸念されるなど、予断を許さない状況で推移いたしました。

当社グループの業界につきましては、顧客の生産数量は緩やかに回復しましたが、政府による経済対策の打ち切り、為替の動向や原油価格の上昇等により、楽観できない事業環境となっております。

このような状況のもと、当社グループは、積極的な営業活動を展開するとともに、原価低減や品質保証強化の活動を引き続き推進し、競争力の強化を図ってまいりました。

成形品部門におきましては、国内ではOA機器用部品や車両関係の部品が総じて堅調に推移し、また、アジアにおきましても車両関係の部品の受注が大幅に増加しました。一方、金型事業におきましては、国内でのOA機器向け及び欧州での薄型テレビ向けの受注減により減収となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,081百万円（前年同期比9.2%増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加と原価削減効果により営業利益は1,179百万円（同18.2%増）、経常利益は1,010百万円（同37.9%増）、四半期純利益は税効果会計による税金費用の減少もあり1,514百万円（同72.7%増）となりました。

なお、清算手続き中でありました、連結子会社「RICH MOUNT INC.」及び「SANKO NEDERLAND B.V.」の2社は、平成22年11月末に清算終了しました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

① 日本

成形品部門において、OA機器用部品の受注は増加しましたが、車両関係の部品につきましては、ほぼ横ばいで推移しました。また、金型部門ではOA機器向けの減少をアジア向け車両用の増加でカバーし、微増となりました。この結果、売上高は9,618百万円（前年同期比5.8%増）となり、セグメント利益は824百万円となりました。

② 欧州

金型の受注減少と車両用内外装部品や薄型テレビ部品の減産の影響もあり、売上高は1,404百万円（前年同期比23.5%減）となり、セグメント利益は54百万円となりました。

③ アジア

タイ・インドネシアを中心に自動車生産台数が大幅に増加するなか、車両用内外装部品や機能部品の受注拡大を積極的に図るとともに、金型の受注拡大に努めました。この結果、売上高は7,058百万円（前年同期比36.2%増加）となり、セグメント利益は516百万円となりました。

④ 北米

平成22年4月末で生産を終了し、売上高は0百万円（前年同期比100.0%減）、セグメント損失は13百万円となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

部門別		当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	
		売上高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
成形品	情報・通信機器	4,426	120.7
	車両	11,122	113.3
	家電その他	1,681	84.7
成形品計		17,230	111.3
金型		851	79.2
合計		18,081	109.2

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、25,140百万円（前連結会計年度末比712百万円増）となりました。流動資産は14,981百万円と前連結会計年度末比1,528百万円増加しておりますが、これは、主に受取手形及び売掛金の増加257百万円、たな卸資産の増加349百万円並びにその他資産の増加804百万円によるものであります。固定資産は10,158百万円と前連結会計年度末比816百万円減少しておりますが、これは、有形固定資産の減価償却による減少751百万円が主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、17,965百万円（前連結会計年度末比803百万円減）となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の増加350百万円並びに長期借入金の減少1,011百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、7,174百万円（前連結会計年度末比1,515百万円増）となりました。これは、利益剰余金の増加1,430百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は3,723百万円となり、前連結会計年度末より117百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,129百万円（前年同期比7.8%増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,012百万円、減価償却費882百万円及び仕入債務の増加403百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は39百万円（前年同期は獲得した資金480百万円）となりました。これは主に有形固定資産取得による支出299百万円及び有形固定資産の売却による収入280百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は945百万円（前年同期比23.8%増）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1,196百万円及び短期借入金の純増額292百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月通期の連結業績予想につきましては、平成22年7月8日付「平成22年5月期決算短信」にて公表いたしました業績予想を修正しました。平成23年5月期通期は、第2四半期連結累計期間の業績をふまえ、下半期は日本及び欧州の景気後退が予想され、売上高35,500百万円、営業利益1,800百万円、経常利益1,400百万円、当期純利益1,600百万円と予想しております。詳細は平成23年1月6日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

① 連結の範囲の変更

「RICH MOUNT INC.」及び「SANKO NEDERLAND B.V.」は当第2四半期連結会計期間において清算したため、連結の範囲から除外しております。

なお、清算までの損益計算書については連結しております。

② 変更後の連結子会社の数

9社

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 原価差異の配賦方法

原価差異の配賦方法については、標準原価を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に事業の種類別区分により実施する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益がそれぞれ378千円減少し、税金等調整前四半期純利益が5,918千円減少しております。また、会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は12,929千円であります。

② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,723,275	3,606,099
受取手形及び売掛金	8,060,309	7,803,046
商品及び製品	447,516	443,138
仕掛品	864,630	579,844
原材料及び貯蔵品	418,485	357,777
その他	1,467,535	663,348
流動資産合計	14,981,753	13,453,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,804,035	4,014,201
機械装置及び運搬具(純額)	2,292,087	2,491,571
土地	2,138,698	2,168,458
建設仮勘定	158,766	22,252
その他(純額)	744,179	1,192,558
有形固定資産合計	9,137,768	9,889,043
無形固定資産		
その他	70,091	78,424
無形固定資産合計	70,091	78,424
投資その他の資産		
投資有価証券	648,952	653,588
その他	301,738	353,687
投資その他の資産合計	950,690	1,007,275
固定資産合計	10,158,550	10,974,742
資産合計	25,140,303	24,427,998

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,588,701	6,238,006
短期借入金	1,385,730	1,137,136
1年内返済予定の長期借入金	2,053,708	2,236,317
未払法人税等	69,539	189,366
その他	1,835,965	1,795,287
流動負債合計	11,933,645	11,596,114
固定負債		
長期借入金	5,438,240	6,266,750
退職給付引当金	75,132	61,596
役員退職慰労引当金	96,012	96,012
負ののれん	4,143	13,084
その他	418,428	735,449
固定負債合計	6,031,956	7,172,892
負債合計	17,965,601	18,769,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,890,800	1,890,800
資本剰余金	1,742,393	1,742,393
利益剰余金	3,995,736	2,565,319
自己株式	△38,360	△38,087
株主資本合計	7,590,569	6,160,425
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△104	△4,988
為替換算調整勘定	△993,256	△1,013,621
評価・換算差額等合計	△993,361	△1,018,610
少数株主持分	577,494	517,175
純資産合計	7,174,702	5,658,991
負債純資産合計	25,140,303	24,427,998

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)
売上高	16,551,305	18,081,998
売上原価	13,586,256	14,829,736
売上総利益	2,965,048	3,252,261
販売費及び一般管理費	1,967,491	2,072,695
営業利益	997,557	1,179,566
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,539	10,351
持分法による投資利益	5,797	24,423
スクラップ収入	12,614	—
その他	23,675	61,197
営業外収益合計	48,625	95,973
営業外費用		
支払利息	188,234	149,251
為替差損	68,376	89,326
その他	56,854	26,447
営業外費用合計	313,466	265,025
経常利益	732,716	1,010,513
特別利益		
固定資産売却益	280,184	76,097
スワップ差益	—	8,631
特別利益合計	280,184	84,729
特別損失		
固定資産除却損	4,263	23,237
固定資産売却損	7,877	2,821
スワップ差損	6,353	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	5,539
投資有価証券評価損	—	21,716
関係会社清算損	—	28,497
その他	—	1,000
特別損失合計	18,494	82,812
税金等調整前四半期純利益	994,407	1,012,430
法人税等	61,924	△569,222
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,581,652
少数株主利益	55,510	67,493
四半期純利益	876,972	1,514,159

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	994,407	1,012,430
減価償却費	718,133	882,952
持分法による投資損益(△は益)	△5,797	△24,423
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,479	13,535
受取利息及び受取配当金	△6,539	△10,351
支払利息	188,234	149,251
有形固定資産売却損益(△は益)	△272,307	△73,276
有形固定資産除却損	4,263	23,237
投資有価証券評価損益(△は益)	—	21,716
為替差損益(△は益)	68,376	89,326
関係会社清算損益(△は益)	—	28,497
スワップ差損益(△は益)	6,353	△8,631
売上債権の増減額(△は増加)	△1,111,304	△306,013
たな卸資産の増減額(△は増加)	△43,159	△356,959
その他資産の増減額(△は増加)	50,895	△314,649
仕入債務の増減額(△は減少)	644,933	403,518
その他負債の増減額(△は減少)	50,856	34,449
その他	△30,438	△88,818
小計	1,265,387	1,475,790
利息及び配当金の受取額	6,539	10,351
利息の支払額	△190,768	△152,776
法人税等の支払額	△33,130	△204,023
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,048,027	1,129,342
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△305	△312
有形固定資産の取得による支出	△178,173	△299,424
有形固定資産の売却による収入	681,247	280,796
その他	△21,936	△20,312
投資活動によるキャッシュ・フロー	480,832	△39,252
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	302,652	292,847
長期借入金の借入れによる収入	400,000	195,300
長期借入金の返済による支出	△1,284,821	△1,196,026
リース債務の返済による支出	△180,915	△119,646
配当金の支払額	—	△83,742
少数株主への配当金の支払額	—	△33,600
自己株式の取得による支出	△66	△273
財務活動によるキャッシュ・フロー	△763,150	△945,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	△83,450	△27,774
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	682,258	117,175
現金及び現金同等物の期首残高	2,167,197	3,606,099
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,849,456	3,723,275

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日）
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）

	成形品 (千円)	金型 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	15,475,283	1,076,022	16,551,305	—	16,551,305
(2) セグメント間の内部売上高	—	—	—	(—)	—
計	15,475,283	1,076,022	16,551,305	(—)	16,551,305
営業利益	1,192,279	5,274	1,197,554	(199,997)	997,557

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分		主要製品
成形品	情報・通信機器	定着器ユニット、スキャナー、トナーカートリッジ、インクタンク他
	車両	ボデーバルブ、インパネ、バンパー、ハウジングギヤ、タンク他
	家電その他	フロントパネル、フィルター枠、ファン、手洗器、飲料用キャップ他
金型		プラスチック成形用金型

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）

	日本 (千円)	欧州 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	9,087,719	1,835,275	5,183,947	444,362	16,551,305	—	16,551,305
(2) セグメント間の内部売上高	357,864	298,048	614,134	—	1,270,047	(1,270,047)	—
計	9,445,584	2,133,324	5,798,081	444,362	17,821,352	(1,270,047)	16,551,305
営業利益又は営業損失(△)	711,686	81,027	409,069	△4,229	1,197,554	(199,997)	997,557

(注) 1. 地域の区分は、地理的接近度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりです。

- (1) 欧州・・・・・・英国、オランダ等
- (2) アジア・・・・・・シンガポール、タイ、インドネシア、マレーシア、中国等
- (3) 北米・・・・・・米国等

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年6月1日 至 平成21年11月30日）

	欧州	アジア	北米	計
I 海外売上高 (千円)	1,839,378	5,405,035	446,589	7,691,003
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	16,551,305
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	11.1	32.7	2.7	46.5

- (注) 1. 地域の区分は、地理的接近度によっております。
 2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりです。
 (1) 欧州・・・・・・英国、オランダ等
 (2) アジア・・・・・・シンガポール、タイ、インドネシア、マレーシア、中国等
 (3) 北米・・・・・・米国等
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、国内外において車両分野、情報・通信機器分野及び家電その他分野向けにプラスチック成形品並びにプラスチック成形用金型の製造販売を主要な目的として、事業活動を展開しております。

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。各々の現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成されており、「日本」、「欧州」、「アジア」及び「北米」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	9,618,969	1,404,158	7,058,802	67	18,081,998	—	18,081,998
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	662,139	—	502,024	—	1,164,164	(1,164,164)	—
計	10,281,109	1,404,158	7,560,827	67	19,246,162	(1,164,164)	18,081,998
セグメント利益又は損失(△)	824,405	54,525	516,566	△13,775	1,381,720	(202,154)	1,179,566

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去3,552千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△205,707千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日）

該当事項はありません。